

ご挨拶

新緑が芽吹く季節となりました。皆様にはご清祥の御事とお慶び申し上げます。本日は、お忙しいなか「扇菊会」にお運びいただきまして誠にありがとうございます。

扇菊さんは、幼いころから故勝扇さん、故三津扇さん、そして勝友さんのもとで日本舞踊の修業を重ねてきましたが、同時に演劇を学ぶなど非常に広い視野を持って様々な活動をされています。古典舞踊はもちろん、ご自身の振付けの新作舞踊、さらには他のジャンルの舞踊や演劇とのコラボレーション、数多くの海外での公演など、多岐にわたり精力的に活躍されています。そして現在は、坂東会の役員として流儀の発展にも力を尽くしてくださっています。

今回で第六回となります。「扇菊会」には、多くの若手のお弟子さんが出演すると伺っております。若手にとりまして、実践・活躍の場があるという事ほどありがたく、励みになる事はありません。また、比較的男性の少ない坂東流ではありますが、扇菊さんの一門には男性のお弟子さんも多くおります。

若手・男性の育成に熱心に取り組まれる扇菊さんは、当流の大きな希望であり、大変に心強い存在であります。

この会を通して、一門がさらなる発展を遂げる事を願っております。

ご来場の皆様におかれましても、何卒、本日のあたたかさご声援、そしてこの後の末永い御後援の程を私よりも伏してお願ひ申し上げます。

家元 坂東巳之助